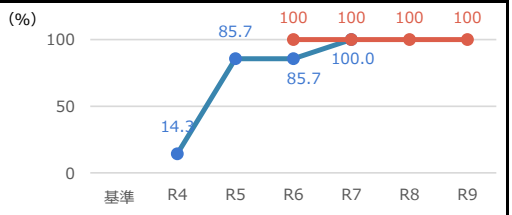
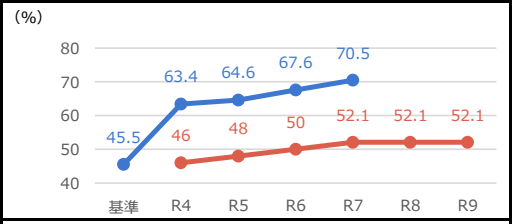
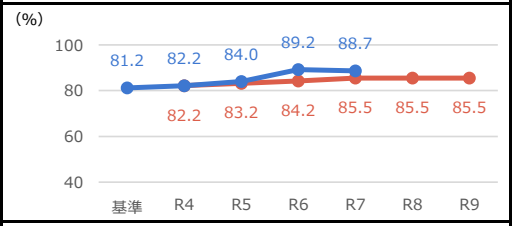
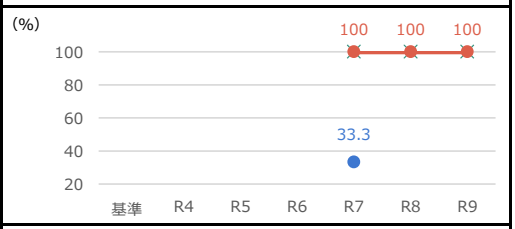
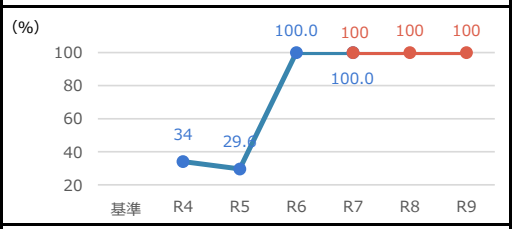
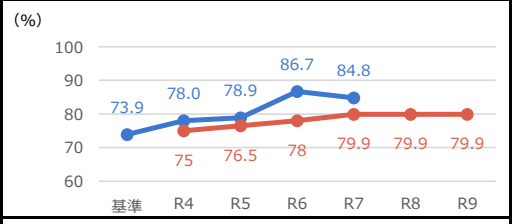
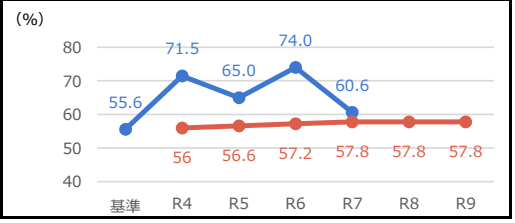
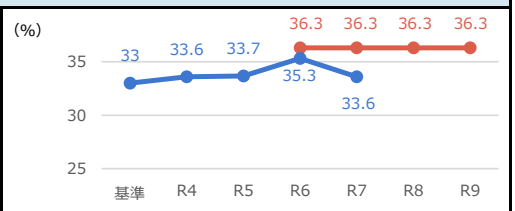
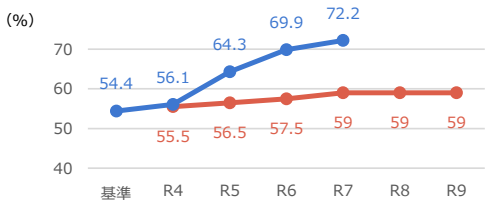
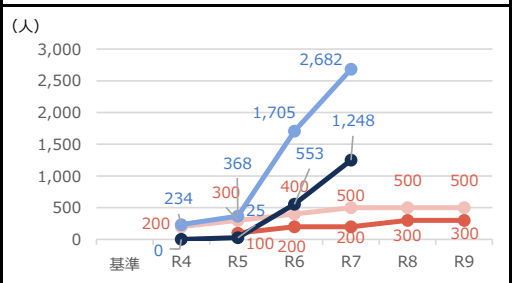
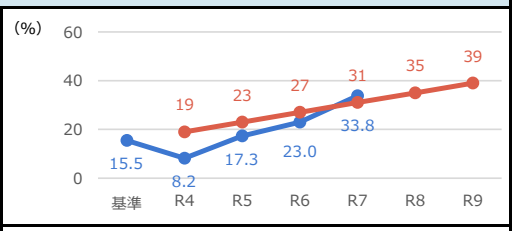
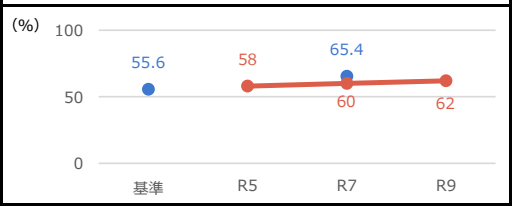
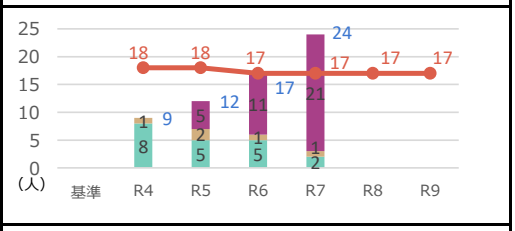
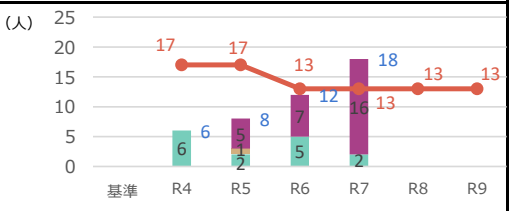
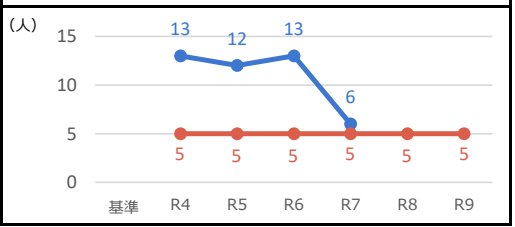
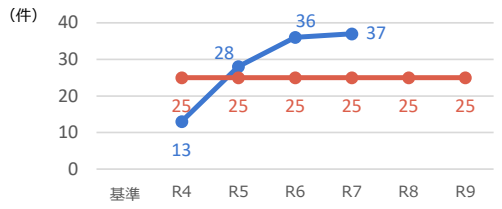
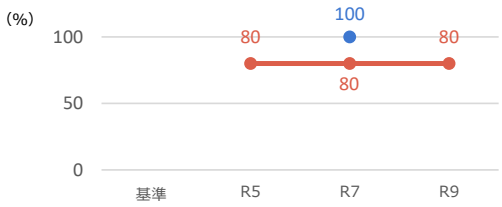
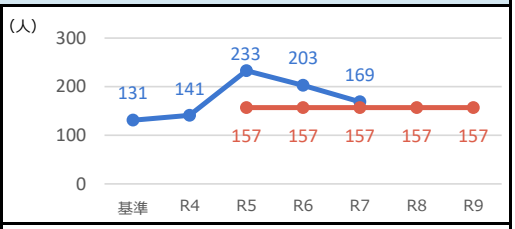
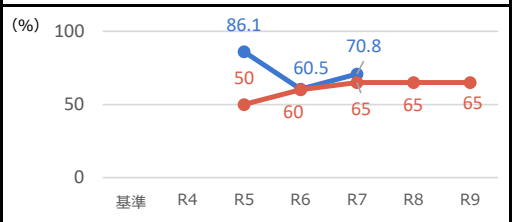
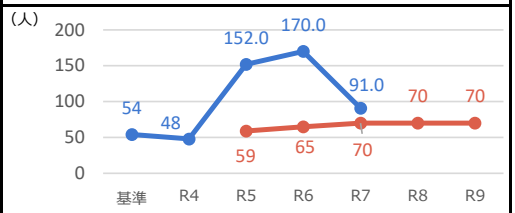
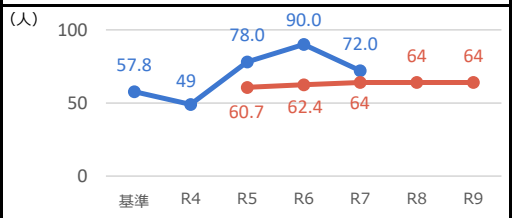
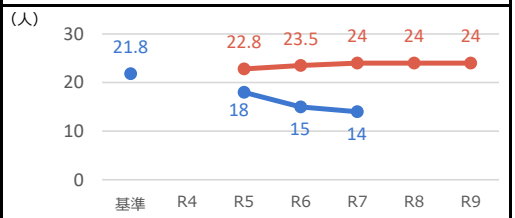
アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
Vision１　未来を切り拓く人材の育成			
戦略１【学修者本位の教育の実現】			
○入口から出口まで一貫したポリシーの下での人材育成の確立	中期計画	7）全教育プログラムの新しい３ポリシーを令和6年度までに制定・公表（達成率）	
		8）新入生の大学教育への満足度：第3期平均の12%増（第4期中期目標期間最終年度） 45.5%→52.1%	
○高度な専門知識と、幅広い教養及び行動的知性を身に付けた人材の育成 ○デジタル技術を有効活用した教育の質の向上	中期計画	11）宇大版汎用的能力「宇大スタンダード」の獲得実感：対令和3年度比で23%増(第4期中期目標期間最終年度） 81.2%→85.5%	
		12）高度教養科目受講率：100%を達成（第4期中期目標期間最終年度）	
		13）ブレンディッド・ラーニング実施率：令和7年度までに専任教員100%	
○学生の学修意欲を高め、質の高い主体的な学修を確立	中期計画	9）学修力の獲得実感：対令和3年度比で23%増（第4期中期目標期間最終年度） 73.9%→ 79.9%	
		10）卒業生に対する企業等の評価：「期待を上回る」と回答した割合：平成30年度～令和2年度平均の5%増（第4期中期目標期間最終年度） 55.6%→57.8%	

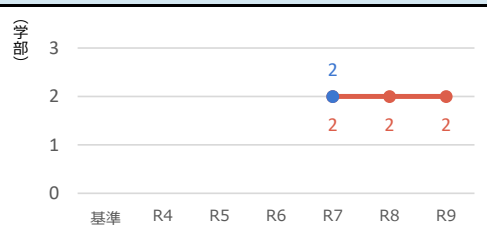
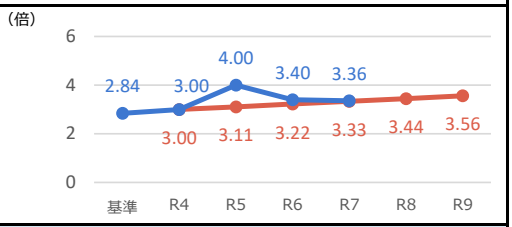
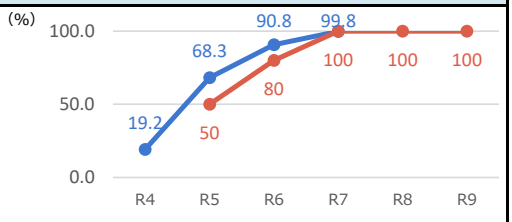
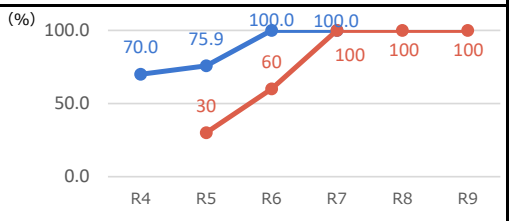
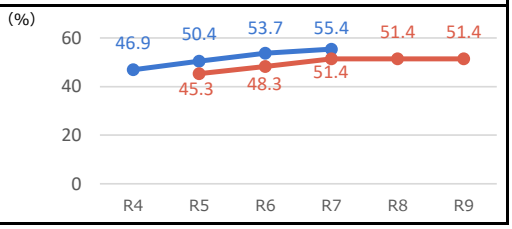
アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
戦略２【時代を先導する教育組織･プログラムの創出】			
○地域社会や産業界が求める数理･データサイエンスの素養を持ち、経営学の基礎と特定の分野の経営に関する実践的な知識を身に付けた人材の育成	中期計画	5）本学入学者に占める県内高校出身者の割合：第3期平均の5%増（新学位プログラム設置以降、第4期中期目標期間平均：R6~9年度平均） 33.0%→36.3%	
		6）大学教育への満足度（3年生）：第3期平均の10%増（第4期中期目標期間最終年度） 54.4%→59.0%	
○新学位プログラム及び社会人学び直しを指向した数理･データサイエンス･AIの工学専門教育の全学展開と地域への普及	中期計画 プラス	文理融合型数理･データサイエンス教育プログラムの修了者数（延べ人数） ･基礎コース：500名 ･応用コース：300名	
戦略３【実践的な大学院教育の推進】			
○幅広い文理複眼的な視点を備えた人材の輩出	中期計画	14）在学中に地域社会･産業界との共同研究･連携プロジェクト等に係わった学生の割合：令和2年度実績の2倍以上（第4期中期目標期間最終年度）（4%増／年でR7末に15.5×2.00=31%） 15.5%→31%	
		15）修了生に対する企業等の肯定的評価：60%以上（第4期中期目標期間最終年度）（2%増／回でR7末に60%） 55.6%→60%	
○社会デザインとイノベーションの創生を支え，STI for SDGsを推進する高度専門職業人及び創造的能力を備えた人材の育成	客観･ 共通指標	博士号授与数　年平均17名（DC入学定員25名の67%）単年度数値 ※R4，R5の指標は工学研究科50%，国際学研究科90%	
		博士号授与数（標準修業年限内）年平均13名（DC入学定員25名の52%）単年度数値 ※R4，R5の指標は工学研究科50%，国際学研究科80%	
	中期計画 プラス	DC課程への学内からの進学者数　年平均5名以上（DC入学定員25名の20%）	

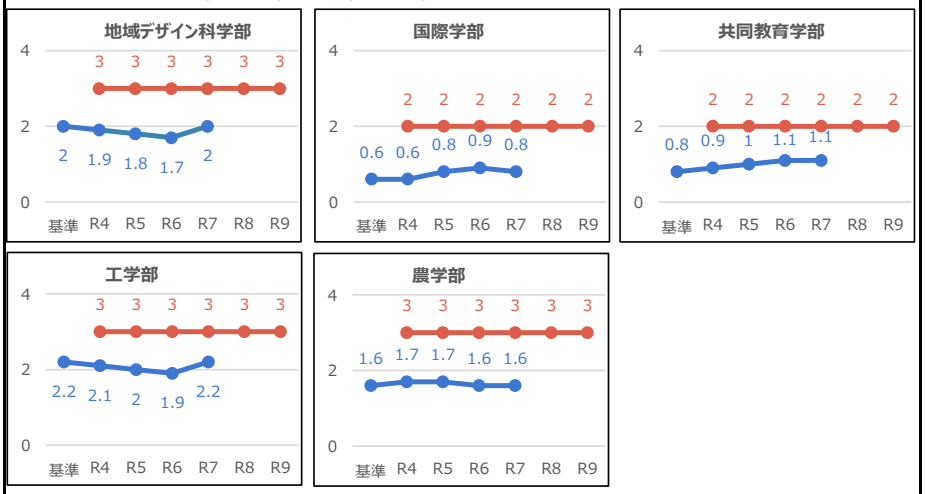
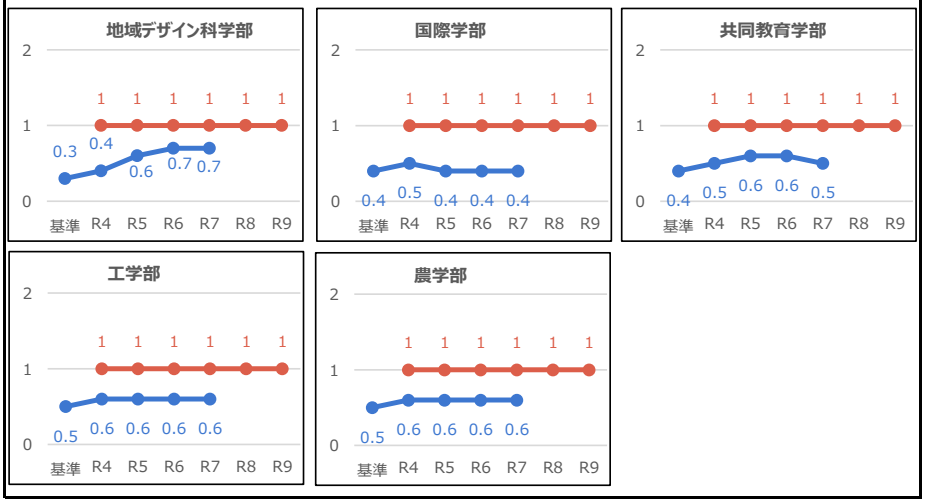
アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
		DC学生による学術誌への論文掲載件数：年間25件以上	
		DC修了生に対する企業等の肯定的評価：80%以上	
戦略４　【共修によるグローバルキャンパスの構築】			
○国際感覚豊かな学生の育成	中期計画	18)「グローバル人材育成プログラム」各年度新規登録者数：第3期平均の20%増　131人→157人	
		19)「グローバル人材育成プログラム」受講者のグローバル関連能力の獲得実感：全学平均を65%上回る（第4期中期目標期間最終年度）	
	中期計画プラス	ハイブリッド交流プログラム参加者数：第3期平均(ハイブリット交流プログラム実施期間R1～R3)から30%増　54人→70人	
		留学生チューター等の登録者数：第3期平均（コロナ禍の影響のないH28～R1）の10%増　57.8人→64人	
		留学生の卒業、修了後の定着数：第3期平均の10%増　21.8人→24人	

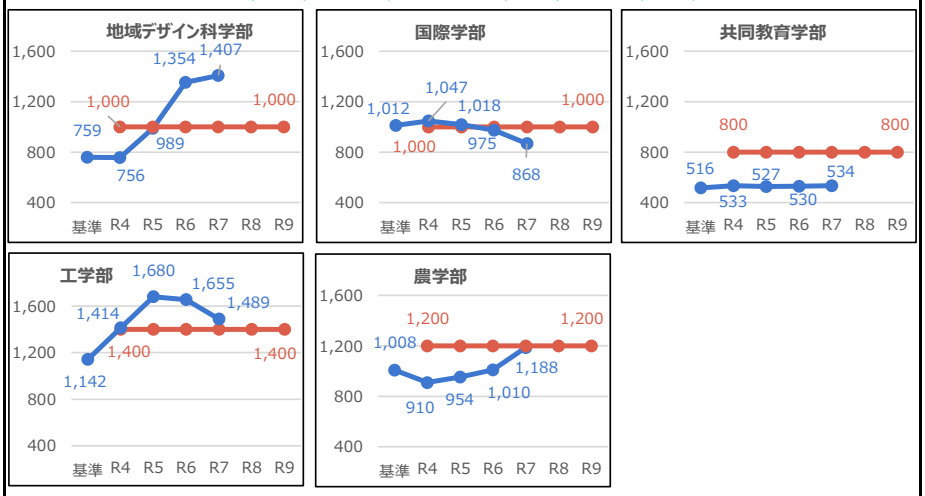
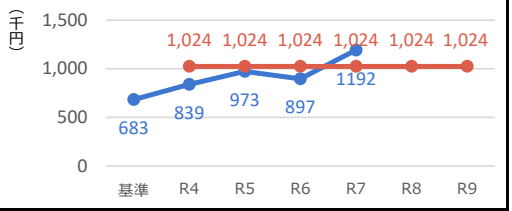
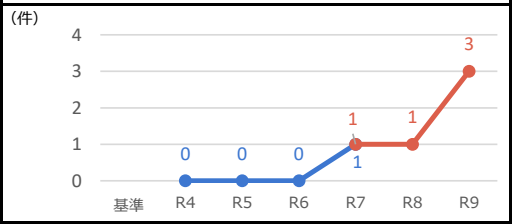
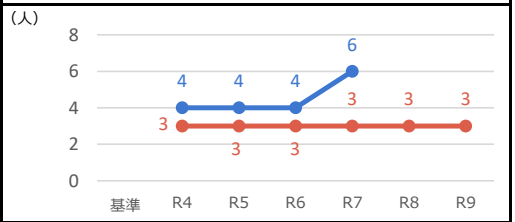
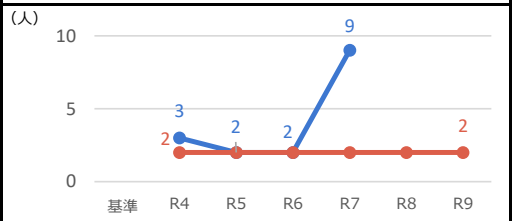
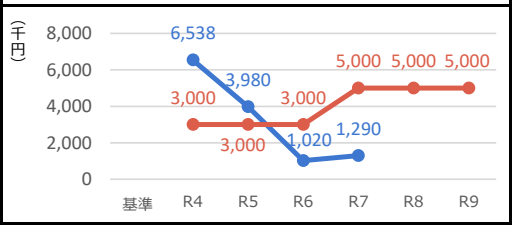
アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
戦略５【高大接続改革と新たなアドミッションの展開】			
○高大連携活動の拡充・強化、iP-Uを活かした高大接続入試によるポテンシャルの高い人材の受け入れ、優秀な人材の育成	中期計画プラス	iP-U特別選抜（仮称）を2学部以上で実施する。	
○新APに合致した選抜方法の確立による本学の学びにマッチした資質・能力を有する入学者の安定的な確保、エビデンスベースの入試戦略の立案・実施	中期計画プラス	一般選抜志願倍率:第3期平均の２５%UP（第4期中期目標期間最終年度目標値：3.56倍） ・第3期の志願倍率平均：2.84倍	
戦略６【学生の多様なニーズへの支援の充実】			
○誰もが安心してともに学ぶインクルーシブな環境の整備 ○学生のメンタルヘルスケアの充実、経済的支援	中期計画プラス	教職員に対するメンタルヘルスケア、障がい者対応に関する研修の受講率：令和7年までに100%	
		学生へのメンタルヘルスケアに関する授業内での紹介実施率：令和7年までに100%	
		学生の大学の支援体制への満足度：第３期最終年度の20%アップ 39.2%→51.4%	

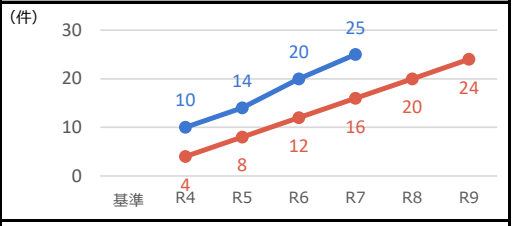
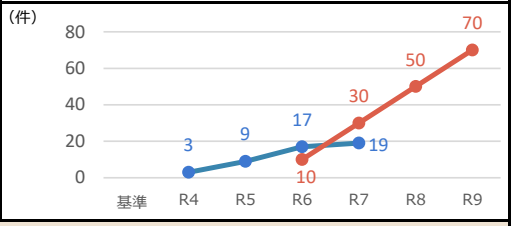
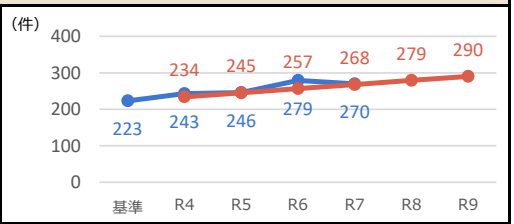
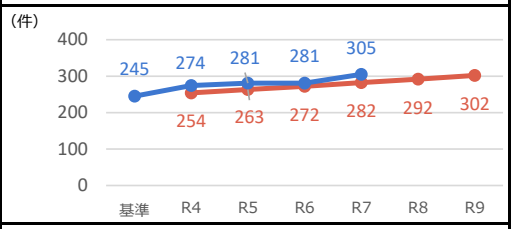
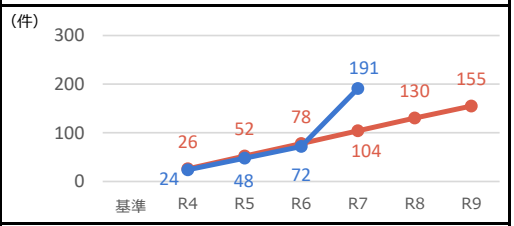
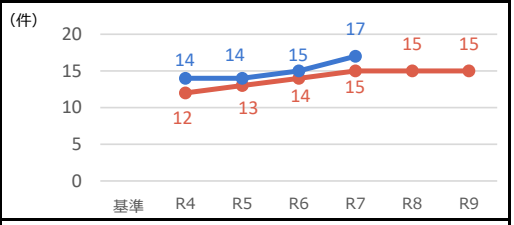
アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
Vision２　持続可能な社会の実現に資する研究			
戦略７【研究力の強化と研究支援体制の整備】			
○研究力強化と研究支援体制ならびに設備の整備	客観・共通指標	常勤教員当り研究業績数（件） H30～R2実績（地2.0，国0.6，教0.8，工2.2，農1.6）の50%増（切り上げ）	
		常勤教員当り科研費獲得件数 H30～R2実績（地0.3件，国0.4件，教0.4件，工0.5件，農0.5件）の50%増し（切り上げ）	

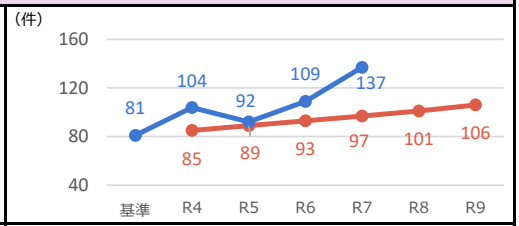
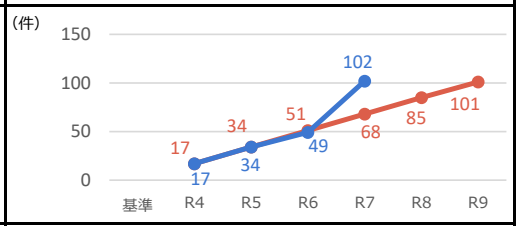
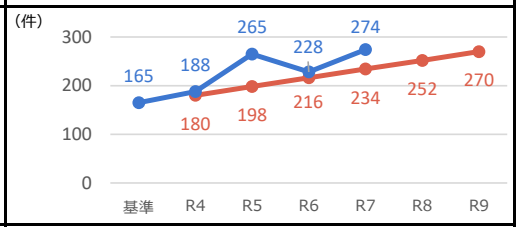
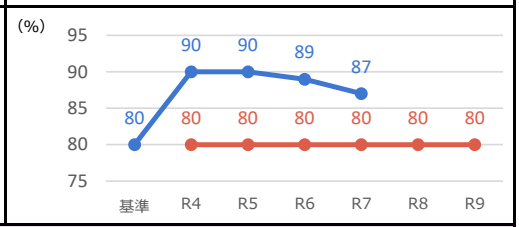
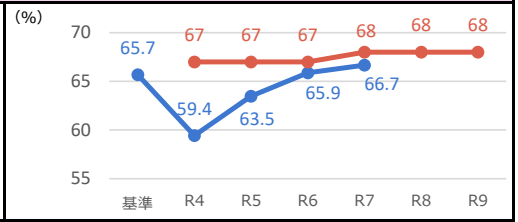
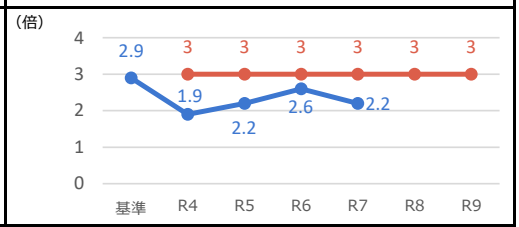
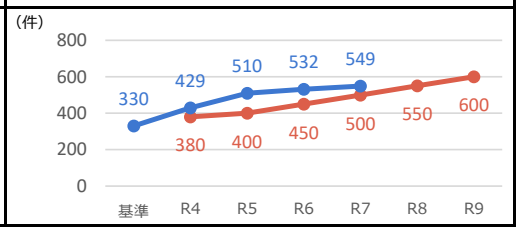
アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
		常勤教員当り科研費獲得額 H30～R2実績（地759千円，国1,012千円，教516千円，工1,142千円，農1,008千円）の20%増	
		常勤教員当りの受託・共同研究受入額　R2実績683千円の50%増	
光工学社会実装拠点の確立を目指したオプティクス分野の教育研究の集約と体系化及び国際化の推進	中期計画プラス	共同研究講座等または寄附講座の設置：累計3件	
		UU-GONへの教員派遣：3名／年	
		海外著名研究者の招聘：2名／年	
		企業寄附金：5,000千円／年	

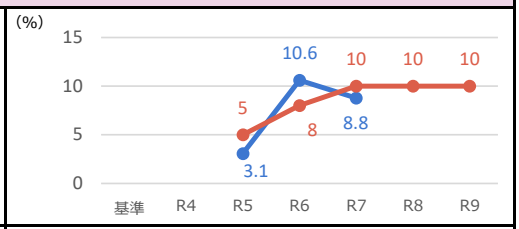
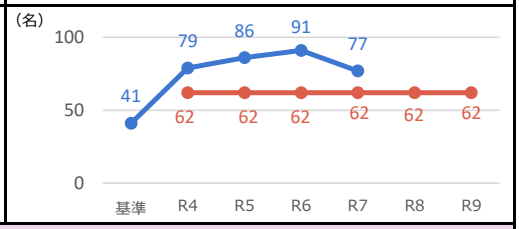
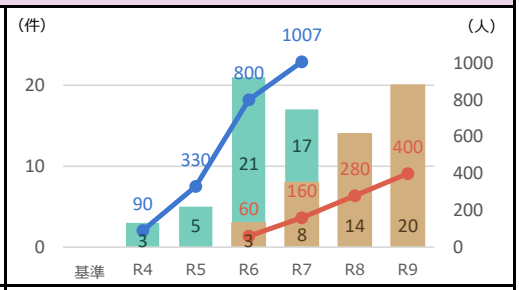
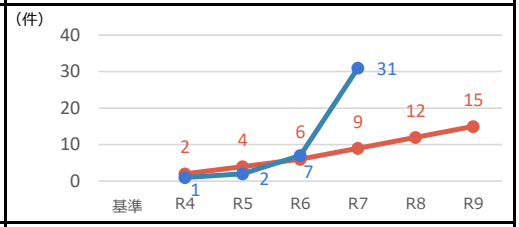
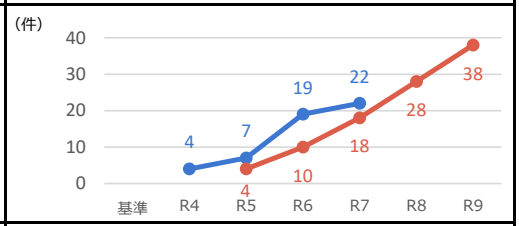
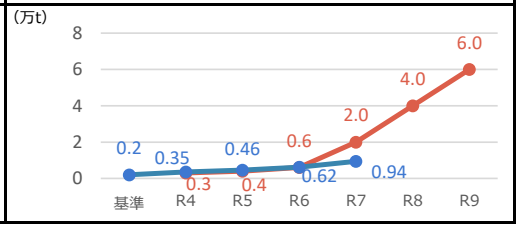
アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
○アグリバイオ産業に資する研究拠点化を目指した植物分子農学分野の強化	中期計画 プラス	学内融合研究件数：のべ24件以上	
		学外共同研究件数：のべ70件以上	
戦略８　【地域発オープンイノベーションの先導】			
○地域の知の拠点として、イノベーションに結びつく知の創出	中期計画	20）国際的に著名な学術誌への年間掲載件数：第3期平均の20%増（第4期中期目標期間最終年度） （11～12件増／年でR7年度末に223×1.20=268件） 223件→268件	
		21）共同研究・受託研究等の年間件数：第3期平均の15%増（第4期中期目標期間最終年度） （9～10件増／年でR7年度末に245×1.15=282件） 245件→282件	
		22）社会実装に至ったプロジェクトの第4期累計件数：第3期実績の50%増　（25～26件／年でR7年度末に69×1.50=104件） 69件→104件（R4~8年度累計）	
○ロボティクス工農技術研究所(REAL)を中心に、IoT、ロボット技術などの研究開発を推進しその成果を身に付けた技術者の輩出	中期計画 プラス	イノベーションに基づいた社会実装へのロードマップを明らかにした「ごった煮」プロジェクト累積数：R3年度実績（12件）の20%増	
		イノベーション達成レベル４を実現したプロジェクト数 4期中累計8件	

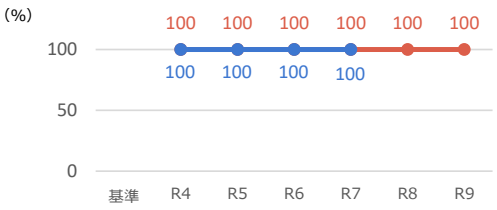
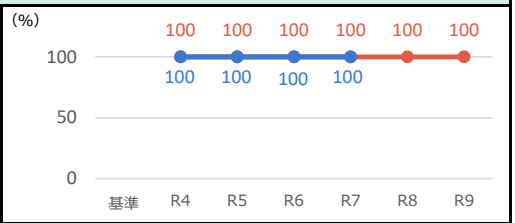
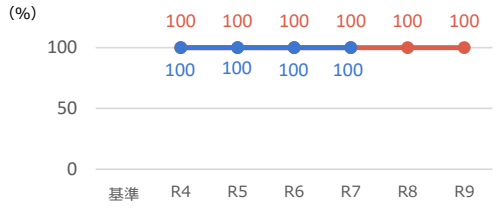
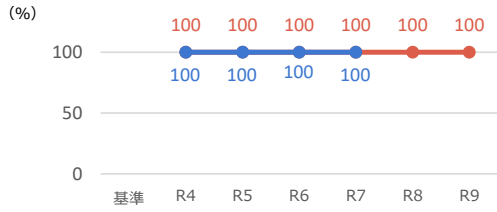
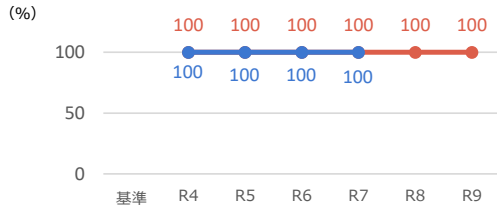
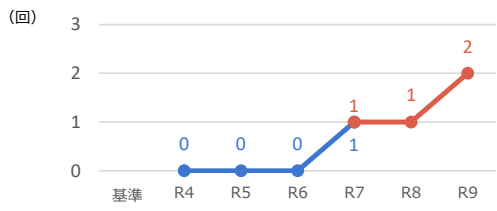
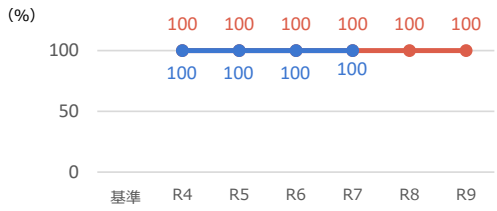
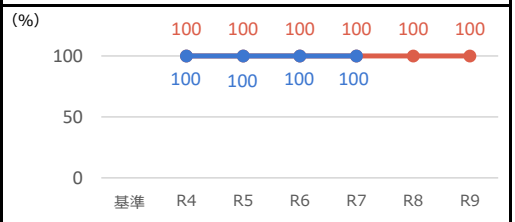
アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
Vision3　対話から生み出される社会共創			
戦略９　【地域創生推進モデルの確立】			
○地域創生に結びつくイノベーションの創出 ○学生・地域の起業や新産業の創出	中期計画	1）地域（県内企業、自治体、コミュニティ）との共同研究・連携プロジェクト等の年間件数：第3期平均の20%増（第4期中期目標期間最終年度）（4～5件増／年でR7末に81×1.20=97件） 81件→97件	
		2）社会実装に至った地域関連プロジェクトの第4期累計件数：第3期実績の50%増（16～17件／年でR7末に45×1.50=67.5件） 45件→68件（R4~8年度累計）	
○地域課題の解決	中期計画	3）社会に対する学術的知見の提供件数：第3期平均の35%増（第4期中期目標期間平均） 165件→223件	
		4）提供した学術的知見の満足度：毎年80%超を維持 80%超→80%超	
戦略10　【地域教育界の先導】			
○質の高い教員の育成と学校支援による学校教育の質向上への貢献	中期計画 プラス	教員就職率68%（実数:65.7%→68%）	
		入試倍率毎年3.0倍以上（実数:2.9倍→3.0倍）	
		教員研修への学部教員の寄与数：600件（実数：330件→600件）	

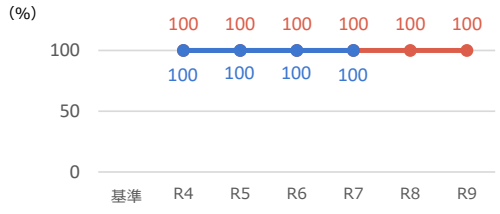
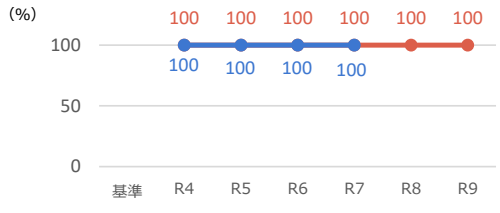
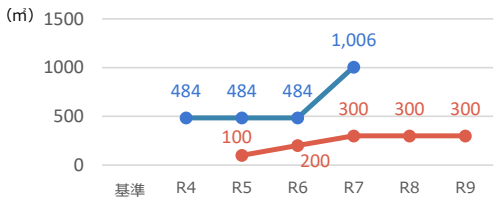
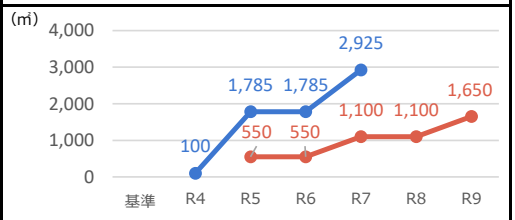
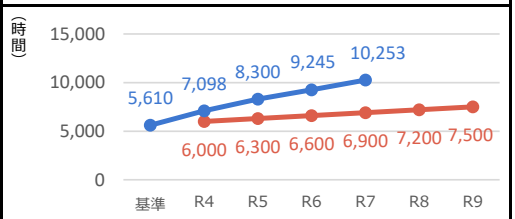
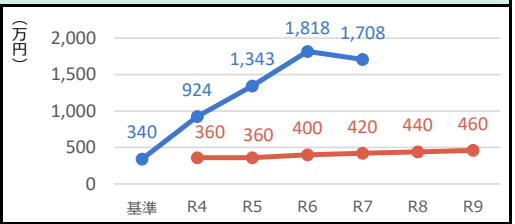
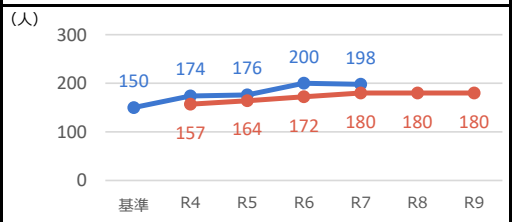
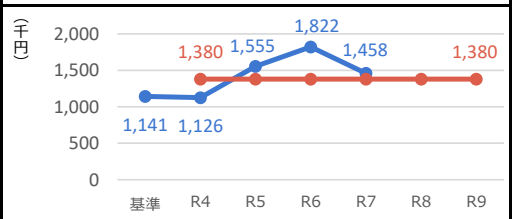
アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
戦略11 【地域の学び直し拠点機能の拡充】			
○ニューノーマル時代のリカレント教育の構築	中期計画	16）UUカレッジの受講者の内、履修証明プログラム取得者の割合：10%が取得（第4期中期目標期間最終年度）	
		17）宇大未来塾の第4期中期目標期間中の平均履修者数：第3期実績の50%増 41名→62名	
戦略12 【豊かな教育研究フィールドの活用と社会還元】			
○充実したフィールド教育・研究施設を活用した社会共創の実現	中期計画 プラス	実施したエクステンション・プログラム：延べ20プログラム，延べ参加者数：400人	
		社会実装に至った課題数：15件	
		産学官連携事業数：35件	
○「ゆうだい２１」の戦略的普及による、生産者主導の新たな水稲普及モデルの確立	中期計画 プラス	【仮置き】ゆうだい21生産量：対令和3年度比の30倍（第4期中期目標期間最終年度）生産量0.2万ｔ（うち県内0.1万ｔ）→生産量6万ｔ（うち県内2万ｔ）シェア全国１%・県内10%	

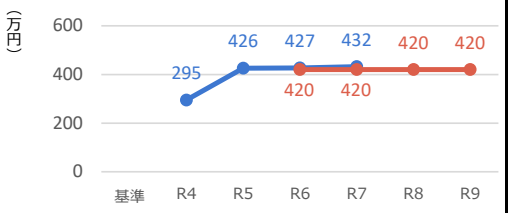
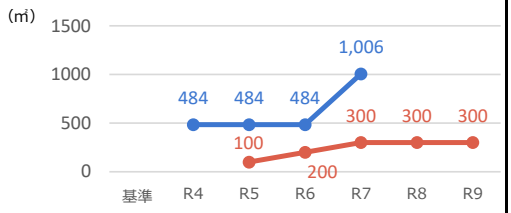
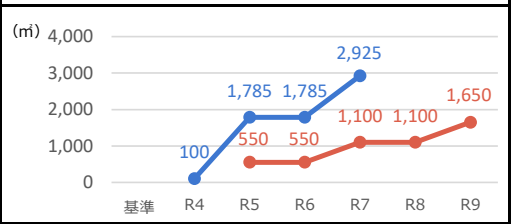
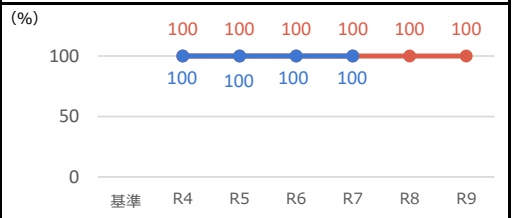
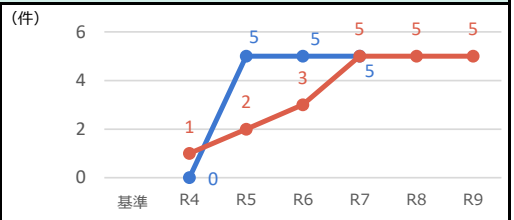
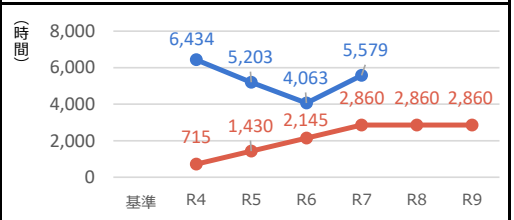
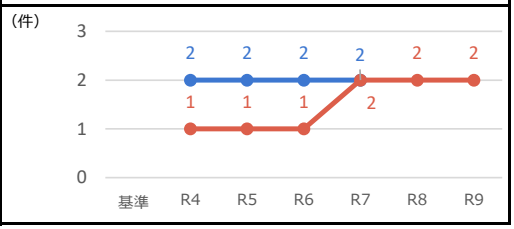
アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
Vision４　学内のコンセンサスに立脚した組織運営			
戦略13 【構成員との意思疎通によるビジョンの共有】			
○明確なビジョンの提示と構成員とのコミュニケーション	中期計画 プラス	役員と構成員との定期的な意見交換の実施回数：半期に1度以上（達成率）	
戦略14 【ステークホルダーを巻き込んだ大学経営モデルの構築】			
○専門的知見の法人経営への活用	中期計画	23）ステークホルダー会議等における意見等の反映状況の公表回数：毎年度1回以上（達成率）	
		24）中期計画の達成状況の公表回数：毎年度1回以上（達成率）	
○内部統制の実質化を図る	中期計画	25）内部統制に係るFD･SD研修回数：毎年度2回以上（達成率）	
		26）内部統制点検結果の公表回数：毎年度4回以上（達成率）	
○自己点検･評価結果の法人経営への活用	中期計画	35）全学部で教育研究に対する外部評価の受審回数：第4期中期目標期間中に2回以上	
		36）自己点検･評価に対するステークホルダー会議による評価の受審回数：毎年度1回以上（達成率）	
		37）中期計画の達成状況の公表回数：毎年度1回以上(再掲)　（達成率）	

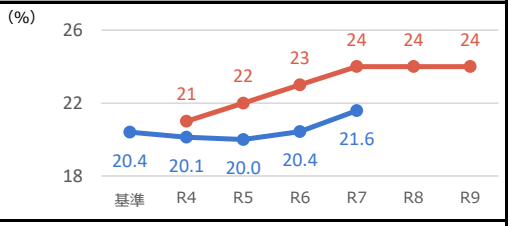
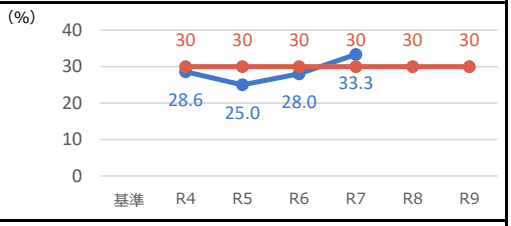
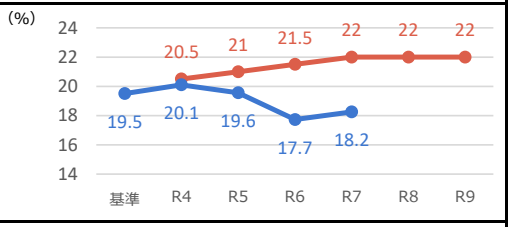
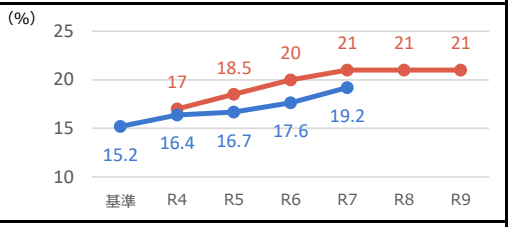
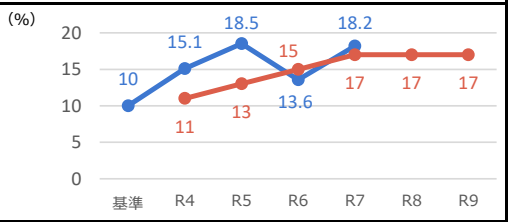
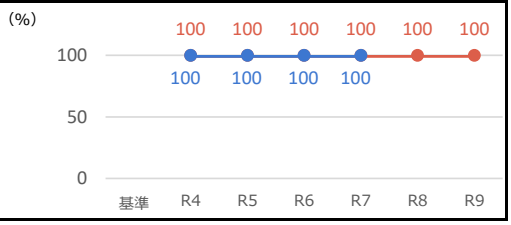
アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
○経営情報の社会への開示	中期計画 プラス	統合報告書による経営情報の開示を毎年度実施（達成率）	
		全学IRの推進及び分析結果を毎年度開示（達成率）	
○新学位プログラム（学部等連係課程）の創設を核とした組織再編に伴うスペースの再配置 ○地域活性化の中核的拠点としての機能強化	中期計画	27）共同利用スペースの新規確保面積：270㎡以上（第4期中期目標期間累計）	
		28）新学位プログラム（学部等連係課程）の施設面積：1,650㎡以上（新学位プログラム完成年度末:R9年度末）	
		29）共用設備・機器の利用時間数：第4期中期目標期間年平均6,730時間以上 5,610時間→6,730時間	
戦略15 【安定した財務基盤の確立】			
○寄附金・共同研究等の受入推進	中期計画	30）地域（県内企業、自治体、コミュニティ）からの共同研究・受託研究等の間接経費受入額：第4期中期目標期間年平均400万円以上 340万円→400万円	
	中期計画	31）宇大倶楽部会員数（継続寄附者）：180人以上（第4期中期目標期間最終年度） 150人→180人	
	客観・ 共通指標	寄附金・雑収入の経営資金獲得実績：常勤教員当たり1,380千円以上	

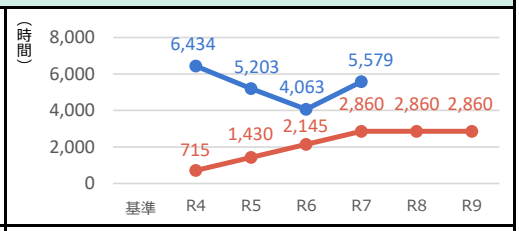
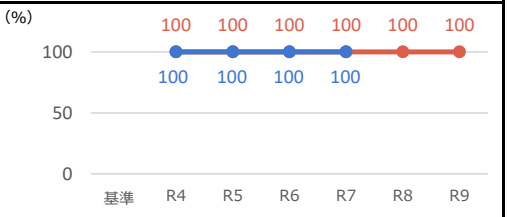
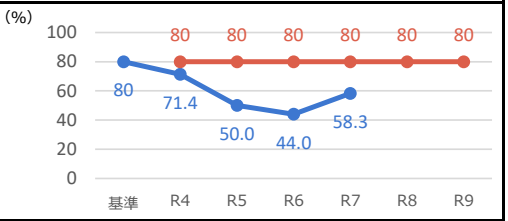
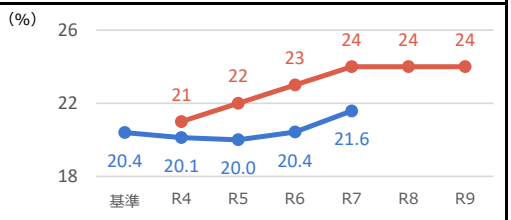
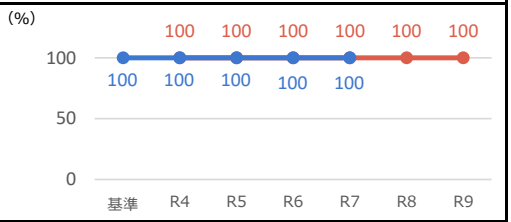
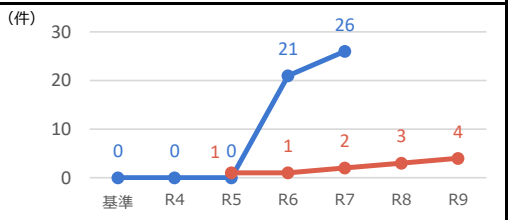
アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
○新たな安定的な財源を確保	中期計画	32）新規定期借地権による貸付料収入：年420万円超（定期借地権契約締結後：R9年度末）	
○地域活性化の中核的拠点としての機能強化	中期計画	33）共同利用スペースの新規確保面積：270㎡以上（第4期中期目標期間累計）（再掲）	
○新学位プログラム（学部等連係課程）の創設を核とした組織再編に伴うスペースの再配置	中期計画	34）新学位プログラム（学部等連係課程）の施設面積：1,650㎡以上（新学位プログラム完成年度末:R9年度末）（再掲）	
○戦略的な資源配分	客観・共通指標	1.成果を中心とする実績に基づく予算配分の評価結果を学内予算配分に反映 2.前年度決算情報の予算配分への活用	
戦略16 【働き方改革の推進によるワークライフバランスの実現】			
○業務全般の効率化	中期計画	38）可能リモートワーク業務数：5件以上（第4期中期目標期間累計）	
		39）超過勤務時間の削減数：2,860時間以上（第4期中期目標期間最終年度）（第３期平均(19,945時間)より削減）	
		40）新規マイナンバーカード活用事例数：2件以上（第4期中期目標期間累計）	

アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
○ワークライフバランス・ダイバーシティ環境実現	中期計画 プラス	女性教員比率（R3:20.4 % →24.0%）	
		女性教員採用比率（30%以上）	
		女性教授等比率（R3:19.5%→22%）	
		女性准教授比率（R3:15.2%→21%）	
		「学長、理事、副学長及び大学の意思決定機関等」に占める女性比率（R3:10.0%→17.0%）	
○情報セキュリティの維持	中期計画	41）情報セキュリティインシデントの発生件数：0件（第4期中期目標期間中）	

アクションプラン2022-2027　達成管理表

取組	計画等区分	達成指標	達成状況 ■実績値　■各年度目標値
戦略17 【教職員の戦略的な配置】			
○人事給与マネジメント改革	中期計画	39）超過勤務時間の削減数：2,860時間以上（第4期中期目標期間最終年度）（第３期平均(19,945時間)より削減）（再掲）	
	客観・共通指標	理想の年代構成を定め実績とともに公表（毎年）	
		毎年度新規採用者における40歳未満の教員採用率80%以上	
		女性教員比率（R3:20.4 % →24.0%）	
		教員の昇任選考については、教員評価結果を参考とする	
		外部資金直接経費による人件費活用件数年１件以上（年件数）	
		民間企業とのクロスアポイントメント制度の新規活用実績数年１件以上（年件数）	